



(財)若狭湾エネルギー研究センター

エネルギー研究開発拠点化ニュース

第12号

平成19年6月21日発行



理科学習に生かすエネルギー教育

平成19年6月8日(金)に当若狭湾エネルギー研究センターで小・中・高等学校の理科における「エネルギー教育」の在り方や効果的な指導方法についての研修が行なわれました。福井県教育研究所が指導力の向上を図るためにエネ研の設備や人材も活用して実施したもので、小・中・高等学校および特別支援学校の理科教員等18名が参加しました。



講演 環境エネルギー教育情報センター 大内副所長による「**エネルギー教育について**」、経済産業省資源エネルギー庁 エネルギー情報企画室 奈良間室長補佐による「**日本のエネルギー事情について**」



写真は「プラズマボール」と「測る君」を使ったワークショップ。

講義とワークショップ 静岡大学教育学部 熊野教授 小・中・高等学校理科の「エネルギー教育」の位置づけ、指導方法の事例、今後のエネルギー教育の課題を日米比較も交えて紹介。



シリコン半導体の透過型電子顕微鏡で格子像の確認 講師: 笹瀬研究員



実習 エネルギー教育等に活かす実験

トイレットペーパーなどの身近なバイオマスからのエタノール生成

講師: 福井高専 吉村教授



電子顕微鏡で身近な物(生物)を覗いてみよう! 講師: 長友オペレーター



田の土の微生物観察 講師: 黒瀬チーフマネージャー



アルデヒド脱水素酵素の遺伝子型判定 講師: 田中研究員

21世紀の共生型原子力システムに関する国際会議 International Symposium on Symbiotic Nuclear Power for 21st century

参加無料・聴講歓迎・当日参加OK

とき：平成19年7月9日（月）13時から17時 場所：福井県若狭湾エネルギー研究センター

主催：シンビオ社会研究会、日本原子力学会 HMS 研究部会、日本学術振興会日韓拠点大学交流事業「エネルギー理工学」
後援：関西電力、福井県、敦賀市、関西電力・リサイクル科学研究振興財団、日本原子力学会日韓学生・若手研究者交流事業
運営連絡会
協賛：(財)若狭湾エネルギー研究センター、ヒューマンインターフェイス学会、日本保全学会、計測自動制御学会関西支部、日本人間工学会関西支部、横浜国立大学安心・安全の科学教育研究センター

プレナリ講演：(同時通訳有り)

1. 我が国の科学技術政策

内閣府大臣官房審議官(科学技術政策担当) 大江田 憲治氏

2. ペブルベッドモジュール型高温ガス炉プロジェクト

中国 清華大学 原子力及び新エネルギー研究院院長 張 作義氏

3. OECD ハルデン原子炉プロジェクトの人間-技術-組織(MTO)研究

ノルウェイ エネルギー技術研究所研究理事 フリディトフ・オウレ氏

無料送迎バス有り(敦賀駅12時発)

問合せ先：ISSNP 大会事務局 office@secretari.jp

今回のISSNP全体(9日から11日)の詳細は、<http://www.issnp.org/homepage.html> (英語)



大江田 憲治氏



張 作義氏




フリディトフ・オウレ氏

募集中

「可能性試験調査研究」における 研究調査テーマを募集！！

(財)若狭湾エネルギー研究センター及び(財)ふくい産業支援センターでは、他県に比べて優れている技術等を基に、更なる技術開発を推進し最先端技術を創出することで、県内に新たな産業クラスターの形成を目指す「ふくい未来技術創造ネットワーク推進事業」を行っております。

本事業の一環として、市場拡大が見込まれる分野における事業化、新商品開発等を促進するため、可能性試験調査研究への支援を実施します。

平成19年度に実施する研究調査テーマとそれを実施する産学官(産学または産官でも可)研究調査グループを募集中です。募集期間は、平成19年6月18日(月)から平成19年7月17日(火)まで(必着のこと。期限以降は無効となります。)  <http://www.werc.or.jp/>



予定

共同研究事業の充実を目指して新しい制度 を開始します。

エネ研の研究者と関西・中京圏等をはじめとした県内外の大学や研究機関等の研究者がエネ研の施設・設備を利用し、共同で研究する際の経費などを支援するものです。

公募期間は19年6月25日から7月24日の予定です。
詳細は公募開始と同時にホームページでご案内いたします。



<http://www.werc.or.jp/>

